

①実施体制

a 委員会の設置状況 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 FD・SD 委員会

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等

令和 6(2024)年度 FD・SD 委員会会議の開催状況

※公務出張等やむをえない場合を除き、全委員出席(オンライン参加有)

委員会	日時	審議事項
第1回教育開発セッション&FD・SD委員会合同会議	令和6(2024)年4月24日(水) (教員6名、職員6名)	・令和6年度 FD・SD 実施計画(案)について(資料1) ・令和6年度 e-JINZAI for University を活用した職員研修年間計画について(資料2) ・職員向け)生成 AI の活用研修について/FD・SD委員会 5月・7月・9月・11月・2月(5回)実施予定 ・国語基礎力調査の実施について/教育開発セッション会議 ・大学教育センターHPの更新(資料3)/教育開発セッション会議 ・私立大学等改革総合支援事業 タイプ1について(資料4)/教育開発セッション会議 ・令和5年度年報について(資料5) ・「生成 AI の利用についてのガイドライン(教員向け)」について(資料6)/教育開発セッション会議 ・その他(「SD 研修 科学技術振興機構による研究倫理教育について(総務課主催)」について) ・その他(令和6年度ベストティーチャー賞授賞式の司会)
第2回教育開発セッション&FD・SD委員会合同会議	令和6(2024)年5月22日(水) (教員6名、職員6名)	・数理・データサイエンス・AI 教育プログラムに係る検討事項について ・令和6年度前期授業評価アンケートの実施について ・令和6年度作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部ベストティーチャー賞の候補者について ・SD 研修「アカデミックハラスメント研修」(教員対象)について ・「職員向け生成 AI の活用研修」について ・大学教育センターHPの更新(案)について] ・「短大・大学のラインズドリルの統合」について ・その他(本学の氏名表記について)
第3回教育開発セッション&FD・SD委員会合同会議	令和6(2024)年6月26日(水) (教員6名、職員6名)	・成績基準の平準化について(【当日資料】「コンピューターリテラシー1」(経営学部)の成績評価の平準化について(依頼) ・数理・データサイエンス・AI 教育プログラムに係る検討事項について ・令和6年度後期授業評価アンケート等の実施について ・令和6年度作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部ベストティーチャー賞の候補者について ・SD 研修「ハラスメント研修」(職員対象)について ・「経営・財務状況について」研修について ・大学教育センターHPの更新(案)について
第4回教育開発セッション&FD・SD委員会合同会議	令和6(2024)年7月24日(水) (教員6名、職員6名)	・大学教育センターHPの更新(案)について ・(8月・9月開催)e-JINZAI for University による職員 SD 研修について ・(学生課主催)「教職員救命講習会～心肺蘇生(AED)、救命法検定等～」研修について ・FD 研修「ティーチング・ポートフォリオによる教育改善の活用について」 ・(施設課主催)教職員消防研修について ・SD 研修「科研費助成事業説明会」他(総務課主催)について ・学生 FD・SD について ・「短大・大学のラインズドリルの統合」について ・「コンピューターリテラシー1」(経営学部)の成績評価の平準化について ・その他(授業評価アンケートの回答期限の延長(短大)について)

第5回教育開発セッション&FD・SD委員会合同会議	令和6(2024)年9月18日(水) (教員6名、職員6名)	・大学教育センターHPの更新(案)について ・令和6年度後期 各アンケートの実施について ・令和6年度前期授業評価アンケート集計結果について ・ベストティーチャー賞受賞者による授業公開について ・学生FD・SDについて ・第3回「職員向け生成 AI の活用研修」について
第6回教育開発セッション&FD・SD委員会合同会議	令和6(2024)年10月23日(水) (教員6名、職員6名)	・【緊急開催・SD研修】「誤送付防止のための情報セキュリティ研修」 ・令和7年度入学予定者対象 入学前教育について ・授業評価アンケートの「中間アンケート」について ・令和6年度ディプロマサブリメントの発行について ・その他(緊急開催SD研修の実施予定について) ・その他(令和6年度「ベストティーチャー賞表彰式」について)
第7回教育開発セッション&FD・SD委員会合同会議	令和6年11月27日(水) (教員6名、職員6名)	・【緊急開催・SD研修】「情報セキュリティ研修」 ・第2回情報セキュリティ研修の実施について ・令和6年度後期授業評価アンケートについて ・大学教育センターHPについて ・令和6年度作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部ベストティーチャー賞表彰式の開催について ・令和6年度数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度について
第8回教育開発セッション&FD・SD委員会合同会議	令和6(2024)年12月18日(水) (教員6名、職員6名)	・教員FD研修「授業実践の改善に係るFD研修」 ・第5回「職員向け生成 AI の活用研修」について ・令和6年度全学FD・SD研修実施状況について ・その他(令和6年度ベストティーチャー賞受賞式の補足事項について)
第9回教育開発セッション&FD・SD委員会合同会議	令和7(2025)年1月22日(水) (教員6名、職員6名)	・授業評価アンケートの回答状況及びフィードバック方法について ・SD研修【緊急開催 情報セキュリティ研修】偽のセキュリティ画面の対応方法について ・令和6年度残りのFD・SD研修について ・令和7年度FD・SD研修実施計画(案)について・スタンダードコース(作大eラーニング)の進捗状況
第10回教育開発セッション&FD・SD委員会合同会議	令和7(2025)年2月26日(水) (教員5名、職員5名)	・後期授業評価アンケート結果に伴う授業改善について ・【年報】教育開発セッション会議&FD・SD委員会 活動報告書2024について ・SD研修【緊急開催 情報セキュリティ研修】メール管理について ・令和6年度残りのFD・SD研修について ・数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度の進捗状況について ・令和7年度全学FD・SD等活動実施計画(案)について

②実施状況

a 実施内容 b 実施方法 c 開催状況(教員の参加状況含む)

令和 6(2024)年度 FD 及び SD 研修 実施一覧

区分	日時	題名	概要	担当部署: 発表者	教員 参加者	職員 参加者	学生 参加者	実施方法
FD・SD ①	2024 年 4 月 9 日	新 任 教 員 の た め の 授 業 研 修 会	新任教員のための授業研修 会を開催し、以下のとおり概要 について説明を行った。 (1)大学で活用されているシス テム (2)授業実施における各種シス テムの活用 (3)生成 AI の活用 (4)本学学生の様子 (西谷 健次 教授 (FD・SD 委員長, 人間文化学部) 今宿 裕 教授 (FD・SD 委員, 経 営学部))	大学教育 センター	4			●対面実施
SD ②	2024 年 4 月 8 日 ～4 月 19 日	【障害学 生 支 援】 合 理 的 配 慮 の 対 応 フ ロ ー と そ の 繋 ぎ 方	本研修では「障害学生支援」と して「合理的配慮の対応フロー とその繋ぎ方」について、本学 教職員の知識習得等を目的と して実施する。(講師 杉原 聡子 准教授)	学生課	41	43		●オンライン 実施
SD ③	2024 年 4 月 17 日	新 任 教 職 員 研 修	内容: 学長挨拶(教員心得、令 和 6 年度学長方針)、学校法 人船田教育会、管理運営体 制、研究体制、就業規則、職 場内ルール、本学の ICT 環境 とその活用について など(渡 邊 弘 学長、渡瀬 政道 常 務理事、中山 忠男 事務局 長、松本 光治 法人事務局 総務課長、平野 友理 図書 情報課長)	法 人 事 務 局	4	6		●対面実施
SD ④	2024 年 5 月 13 日～5 月 27 日	科 学 技 術 振 興 機 構 に よ る 研 究 倫 理 教 育 に つ い て	研究不正に至る過程を疑似体 験するドラマを視聴し、研究に 従事する人物のそれぞれの立 場を理解しながら研究倫理を 学習する。不正行為における 一類型の盗用に焦点をあて る。人文・社会科学系と自然科 学系のそれぞれの研究室を舞 台にしたドラマで、盗用に至る 過程が描かれているため、よ り分かりやすく理解を深めるこ とを目指す。	総務課	23			●オンライン 実施
SD ⑤	2024 年 5 月 27 日	【第 1 回 目】生成 AI に関す る活用研 修	職員による生成 AI の活用に 関する勉強会(講師:図書情報 課長 平野「本学生成 AI に 関する基礎研修」)	大 学 教 育 セ ン タ ー ／ 講 師 (図 書 情 報 課 長 平 野 友 理)	2	12		●対面実施

SD ⑥-1	2024 年 5 月 10 日～6 月 17 日	大 学 評 価に関す る 研 修 (基 礎 編)学校 法 人 の 職 員 が 理 解 して お く べ き 大 学 評 価 の 概 要 (e- JINZAI) ①	本研修では、大学評価の基礎 知識の修得、大学・短大内部 の質的保証の維持向上のた めに組織・個人が改善できる 仕組みと意識づくりを目的と して実施する。『e-JINZAI for university』による WEB 研修 (講師:荒木 俊博 氏 淑徳大 学 大学改革室)	大 学 教 育 センター		52		●オンライン 実施
SD ⑥-2	2024 年 5 月 10 日～6 月 17 日	大 学 評 価に関す る 研 修 (基 礎 編)学校 法 人 の 職 員 が 理 解 して お く べ き 大 学 評 価 の 歴 史 や 制 度 (e- JINZAI) ①	本研修では、大学評価の基礎 知識の修得、大学・短大内部 の質的保証の維持向上のた めに組織・個人が改善できる 仕組みと意識づくりを目的と して実施する。『e-JINZAI for university』による WEB 研修 (講師:荒木 俊博 氏 淑徳大 学 大学改革室)	大 学 教 育 センター		52		●オンライン 実施
SD ⑥-3	2024 年 5 月 10 日～6 月 17 日	大 学 評 価に関す る 研 修 (基 礎 編)学校 法 人 の 職 員 が 理 解 して お く べ き 大 学 評 価 担 当 者 の 役 割 や 業 務 領 域 (e- JINZAI) ①	本研修では、大学評価の基礎 知識の修得、大学・短大内部 の質的保証の維持向上のた めに組織・個人が改善できる 仕組みと意識づくりを目的と して実施する。『e-JINZAI for university』による WEB 研修 (講師:荒木 俊博 氏 淑徳大 学 大学改革室)	大 学 教 育 センター		52		●オンライン 実施
SD ⑥-4	2024 年 5 月 10 日～6 月 17 日	大 学 評 価に関す る 研 修 (基 礎 編)学校 法 人 の 職 員 が 理 解 して お く べ き 大 学 評 価 担 当 者 に 求 め ら れ る 資 質 ・ 能 力 (e- JINZAI) ①	本研修では、大学評価の基礎 知識の修得、大学・短大内部 の質的保証の維持向上のた めに組織・個人が改善できる 仕組みと意識づくりを目的と して実施する。『e-JINZAI for university』による WEB 研修 (講師:荒木 俊博 氏 淑徳大 学 大学改革室)	大 学 教 育 センター		52		●オンライン 実施

SD ⑦	2024 年 6 月 12 日	アカデミ ックハラ スメント 研修「ア カデミッ クハラス メントの ケースス タディ」	アカデミックハラスメント防止 対策とケーススタディ ～全て の大学教職員が身につけてお くべき知識と心得～本研修で は、『e-JINZAI for university』 による動画教材「教員と学生/ 教員と職員」を視聴し、本学に おけるハラスメントの発生を未 然に防ぐための知識をケース に合わせて学習する。(講師: 宮林 常崇 氏 東京都立大 学 理系管理課長兼務学務課 長)	大 学 教 育 センター	21	44		●対面実施
SD ⑧	2024 年 8 月 20 日～8 月 30 日	大学にお ける自殺 対 策 推 進のため の研修	近年増加傾向にある大学生の 自殺に関する予防対策として、 本研修では、「厚生労働大臣指 定法人 いのち支える自殺対策 推進センター(JSCP)」による 動画研修を実施する。本研修 を通して、学生を支える立場に ある本学教職員が、いかに【 学生の変化】に気づき対応する か等、命の大切さを改めて深く 学ぶ機会とする。(講師 石井 映美 氏 早稲田大学保健セン ター 常勤精神科医)	学生課	20	44		●オンライン 実施
SD ⑨	2024 年 7 月 24 日	「経営・ 財 務 状 況」及び 「私立学 校 法 の 改正」に ついて	「経営・財務状況」について 本研修では、本学の経営・財 務状況について学び、教職員 全員が今後の本学の経営に 対する考え方について共通理 解することを目指す。(講師 古内 伸一 法人事務局局長) 「私立学校法の改正」について 国の公教育を支える私立学校 が社会からの要請に応え得る ガバナンス改革を推進できる よう行われる改正。その概要 や基本的な考え方などについて 理解することを目的とする。 (講師 松本 光治 法人事務 局総務課長)	法 人 事 務 局	33	39		●対面実施
SD ⑩	2024 年 6 月 18 日	SD 研修 【緊急開 催・情報 セキュリティ 研修(メール 設 定 の 方法)】	本研修では、メール設定の基 本から高度なセキュリティ対策 までを網羅し、参加者が安全 にメールを利用できるようにな ることを目指す。また、実際に 発生した個人情報漏洩の事例 を紹介し、具体的なリスクとそ の対策について理解を深める ことを目的とする。(講師: SUC-CSIRT 最高情報責任者 (CIO)平野 友理)	情報センタ ー		5		●対面実施
SD ⑪	2024 年 7 月 8 日 ～7 月 22 日	職員ハラ スメント 研修「職 場ハラス メントの 基 本 知 識」	本研修では職場でのハラスメ ントの発生を未然に防ぐため に、ハラスメントに対する理解・ 知識等を深めることを目的と する。、『e-JINZAI for university』動画教材「職場の ハラスメントの基本知識」(講 師 織田 純代 氏 特定社会	総務課		48		●オンライン 実施

			保険労務士/ハラスメント防止 コンサルタント)					
SD ⑫	2024 年 7 月 22 日	【第 2 回 目】生成 AI に関す る活用研 修(大学 教育セン ター)	職員による生成 AI の活用に 関する勉強会(発表者:図書情 報課 飯村「第 2 回 生成 AI に 関する活用研修」「実際にやっ てみよう」)	大 学 教 育 セ ン ター ／ 発 表 者 (図書情報 課 飯村)	1	11		●対面実施
SD ⑬	2024 年 6 月 13 日	第 23 回 最 先 端 先 導 的 経 営 特 別 講 演 会	内容:第 1 部 学生は主張す る!!! 学生による特別研究 発表会『『スポーツの作大』を 目指した学生からの大学ブラン ド構築～地域とともに躍進す る『作大スポーツ』に向けて ～』 第 2 部 第 23 回最先端先 導的経営特別講演会「地域と ともに、LRT を活用した『作大 スポーツ』の大学ブランド構築 ～スポーツビジネスへの挑戦 に向けて～」(講師 斎藤 麗 教授 経営学部スポーツマネ ジメント学科)	作 新 学 院 大 学 及 び 宇 都 宮 市 創 造 研 究 センター主 催	14	17		●対面実施
SD ⑭	2024 年 7 月 26 日	科 研 費 助 成 事 業 説 明 会	科学研究費助成事業に関する 理解を深め申請率及び採択率 の向上を図り、本学の学術研 究の進展に寄与することを目 的とする。Zoom 視聴「科研費 助成事業説明会／宇都宮大 学科科研費説明会 2024」(講師 奥座 文仁 氏 文部科学省 学術研究推進課)	総務課	12	9		●オンライン 実施
SD ⑮	2024 年 8 月 1 日 ～9 月 30 日	OA スキ ル 研 修 (Excel ピボット テーブル 編) (e- JINZAI) ②	ビジネスパーソン必須の OA ス キル (Word、Excel 等) の中 で、ビジネスの場でよく使う機 能 (Excel ピボットテーブル 編) を重点的に学習する。『e- JINZAI for university』による WEB 研修「Excel ピボットテ ーブル編」の動画解説を受講し、 実際に講師と一緒に操作し、 効果的にスキルを習得する。 1.ピボットテーブルとは? 2.集 計・分析に使う 3.スライサー 、タイムラインを使う 4.Power Pivot による複数テ ーブルを使った分析(講師 野中 栄一 氏 経済産業省推進資 格 IT コーディネータ)	大 学 教 育 セ ン ター		23		●オンライン 実施

SD ⑯	2024 年 8 月 1 日 ～9 月 30 日	令和の 時代に志 願者数を 増やす！ 競合校に 負けない 大学 の WEB 戦 略 研 修 (e- JINZAI) ③	現在、若者を取り巻く WEB 環 境の中で、大学の WEB 戦略 は、本学の成長と発展に直結 しており、喫緊の課題になって いる。本研修では WEB を中心 とした戦略的広報活動につい て理解を深めていく。『e- JINZAI for university』による WEB 研修「令和の時代に志願 者数を増やす！競合校に負け ない大学の WEB 戦略研修」 (講師 田中 十升 氏 アド・ リング代表)	大学教育 センター		43		●オンライン 実施
SD ⑰	2024 年 8 月 5 日	科 研 費 説 明 会 「令和 6 年度 科 学 研 究 費 助 成 費事業に 係る研究 計 画 調 書 の 作 成にあた ってのポ イント」	科研費を定期的に採択されて いる大学教員であり審査員も されている研究者に、科学研 究費助成事業の近年の動向 や、研究計画調書の作成に係 る要領をご講義いただき、今 年度の本学の科研費採択率 の向上を図る。(講師 安藤 耕己 氏 山形大学地域教育 文化学部教授)	総務課	28	8		●オンライン 実施
SD ⑱	2024 年 8 月 5 日 ～8 月 26 日(e- ラーニン グ視聴受 講期 間)、 2024 年 9 月 4 日、9 月 5 日、9 月 10 日 (対面講 習日程)	令和 6 (2024) 年度 消 防 訓 練 教 職 員 救 命 講 習 会 ～ e-ラーニ ング+実 技 講 習 (AED 含 む)～	学内に AED が設置されてお り、AED 使用が想定される場 所に勤務している教職員 は、講習を受講する義務があ る。e-ラーニング による「応急 手当 WEB 講習」普通救命講習 編(総務省消防庁)受講+消 防署職員による実技講習 120 分 (AED 訓練含む)(講師: 宇都宮市消防署)	学生課	35	23		●オンライン /対面 実施
FD・SD ⑲	2024 年 9 月 19 日	学 生 FDSD「自 分 の 大 学につい て考えよ う」	学生 FD や本学の教育につい て理解を深めるとともに、FD・ SD活動に学生の声を反映さ せながら本学全体の教育力の 向上を目指すべく、学生・教 員・職員が一堂に会して気軽 な雰囲気の中で語り合う「作新 学院大学 学生 FD・SD～自 分の大学について考えよう～」 を開催する。(メインファシリテ ーター 今宿 裕教授(FD・SD 委員, 経営学部))	大学教育 センター	3	4	8	●対面実施
SD ⑳	2024 年 9 月 20 日	【第 3 回 目】生成 AIに関す る活用研 修	職員による生成 AI の活用に関 する勉強会(発表者:EM・IR 課 高倉「第 3 回 生成 AI に関 する活用研修」「実際にやっ てみよう」)	大学教育 セン タ ー ／ 発 表 者 (EM・IR 課 高倉)	1	11		●対面実施

SD ⑳	2024 年 9 月 11 日	消 防 訓 練 研 修 ～ 災 害 時における 応急対応 訓練 及び VR 防 災 体 験～	本学職員の防災意識の高揚 につなげ、平時の備えや災害 時の適切な避難行動促進による 逃げ遅れによる人的被害ゼロの 実現や防災教育の一層の推進を 図る。内容：危機発生時の初期 対応や消火活動・避難訓練等の 基本的内容（講師：宇都宮市消防 署）	施設課	2	28		●対面実施
FD・SD ㉑	2024 年 9 月 20 日	第 12 回 FD・SD 研 修 会 「これからの時代における学 生支援のあり方について」	宇都宮市創造都市研究センター は、市内4私立大学（宇都宮 共和大学、作新学院大学、帝 京大学宇都宮キャンパス、文星 芸術大学）が連携し、「創造都市 宇都宮都市圏」の形成を目的 に設立された組織である。講演 「これからの時代における学生 支援のあり方について」（講師 丸山 純一氏 文星芸術大学副 学長）	地 域 協 働 広 報 センター	3	2		●対面実施
FD ㉒	2024 年 12 月 6 日	ベストティーチャー賞受賞者 による公開授業	ベストティーチャー賞は、学生 による授業評価アンケート結 果に基づき、毎年度各学部 1 名選出される制度である。ベ ストティーチャー賞受賞者の授 業方法や教授法等を公開する ことは、本学授業実践の改善 の一助になり得、FD 意識の更 なる向上に資するものと思わ れる。本研修では、実際に自 らの授業を公開し、授業の視 聴者からの振り返りを通して 、個々の教員が相互に授業改 善のきっかけを得ることを目 的として実施する。（経営学部 武田 作郁 講師「憲法入門」・ 人間文化学部 高浜 浩二 教 授「福祉心理学」）	大 学 教 育 センター	27	14		●オンライン 実施
SD ㉓	2024 年 9 月 1 日 ～10 月 31 日	2024 年 研 究 倫 理 教 育 の実施について	本学の「作新学院大学・作新 学院女子短期大学部研究活動 における不正行為の防止等に関 する規程」より、研究者は、研 究者倫理及び研究活動に係る 法令等に関する研修又は科目 等を受講しなければならない （第 3 条第 2 項）、研究倫理 教育責任者（部局の長）は当 該部局に所属する研究者に対 し、研究倫理に関する教育を定 期的に行わなければならない こと（第 7 条第 2 項）が規定さ れている。日本学術振興会によ る「研究倫理 e-ラーニング」 （90 分間）のコースを受講し 修了することを求める。	総務課	22	4	1	●オンライン 実施

SD ②⑤	2024 年 9 月 2 日 ～9 月 30 日	研 究 費 の 不 正 使 用・研 究活動に おける不 正 行 為 防 止につ いて	研究活動における不正行為への対応に関するガイドラインに基づき、故意又は研究者としてわきまえるべき基本的な注意義務を著しく怠ったことによる、投稿論文など発表された研究成果の中に示されたデータや調査結果等の捏造、改ざん及び盗用防止を学習するために、本研修を実施する。「研究費の不正使用・研究活動における不正行為防止について（競争的研究費等の管理・監査のガイドライン）」	総務課	21	10		●オンライン 実施
SD ②⑥	2024 年 11 月 22 日	【第 4 回 目】生成 AIに關する 活用研 修	職員による生成 AI の活用に関する勉強会（発表者：キャリア・就職支援課 海老澤、総務課 石嶋「第 4 回 生成 AI に関する活用研修」「実際にやってみよう」）	大 学 教 育 セ ン ター ／ 発 表 者 （キャリア・ 就 職 支 援 課 海 老 澤、総務課 石嶋）	0	11		●対面実施
SD ②⑦	2025 年 2 月 14 日	【第 5 回 目】生成 AIに關する 活用研 修	職員による生成 AI の活用に関する勉強会（発表者：会計課 高橋、西谷健次教授「第 5 回 生成 AI に関する活用研修」「実際にやってみよう」）	大 学 教 育 セ ン ター ／ 発 表 者 （ 会 計 課 高 橋、西 谷 健 次 教 授）	1	11		●対面実施
SD ②⑧	2024 年 10 月 3 日～10 月 4 日	【緊急開 催】誤送 付 防 止 のための 情報セキュ リティ 研修	「誤送付防止のための情報セキュリティ研修」個人情報とは？本学の規程、インシデント発見時・情報漏洩の対応、誤送付防止のための確認事項（郵送物封入作業手順）、通報窓口（講師：SUC-CSIRT 最高情報責任者（CIO）平野 友理）	大 学 教 育 セ ン ター ／ 講 師（情 報セキュリ ティインシ デント対 応 チーム 「 SUC- CSIRT 」最 高 情 報 責 任 者（CIO） 平 野 友 理）		52		●対面実施
SD ②⑨	2024 年 10 月 5 日～10 月 14 日	【障害学 生 支 援】 教育のユニ バーサル デザインにつ いて	本研修では、教育のユニバーサルデザインを通じて、すべての学生が平等に学べる環境を整えることを目指す。 1.授業におけるユニバーサルデザインの捉え方:学び手視点のオプション思考、教え手視点のデザイン思考 2.見通しへの配慮(シラバス作成、授業初回のガイダンス、2回目以降の授業) 3.具体化と明確化(シラバスの具体例、ガイダンス資料)他 (講師 杉原 聡子 准教授 キャンパスライフ支援室)	学生課	20	27		●オンライン 実施

SD ③⑩	2024 年 11 月 26 日～11 月 28 日	【緊急開 催】SD 研 修 情 報 漏 洩 を 防 ぐ ため の メー ル 管 理	本研修は、情報セキュリティイ ンシデントの防止と対応を目的 としており、特に、メールの 誤送信や乗っ取り、システム 登録ミスなど、日常業務で発 生しやすい事例を中心に取り 上げる。本研修を通じて、情報 セキュリティの重要性を再認 識し、適切な対策を講じること で、本学におけるインシデント の発生を未然に防ぐことを目 指す。(講師:SUC-CSIRT 最高 情報責任者(CIO)平野 友理)	大 学 教 育 セ ン ター ／ 講 師 (情 報 セキュリ ティ インシ デント 対 応 チーム 「 SUC- CSIRT 」最 高 情 報 責 任 者 (CIO) 平 野 友 理)		47		●オンライン 実施
SD ③⑪	2025 年 1 月 15 日～1 月 28 日	【緊急開 催】偽の セキュリ ティ画面 の 対 応 方法と注 意喚起	本研修では、昨今の「偽のサ ポート画面」手口に関する事 例を理解、IPA による体験サイ トを視聴することで、本学教職 員の情報セキュリティリスクに 関する危機意識を向上させる ことを目的に実施する。「偽の セキュリティ画面の対応方法」 (講師:SUC-CSIRT 最高情報 責任者(CIO)平野 友理)1/15 対面開催後、1/23～1/28 の期 間で遠隔での追加開催を行っ た。	大 学 教 育 セ ン ター ／ 講 師 (情 報 セキュリ ティ インシ デント 対 応 チーム 「 SUC- CSIRT 」最 高 情 報 責 任 者 (CIO) 平 野 友 理)	60	52		●対面/オン ライン実施
SD ③⑫	2025 年 1 月 22 日～2 月 3 日	【情報セ キュリテ ィ 研 修】 SD 研 修 情 報 漏 洩 を 防 ぐ ため の メー ル 管 理 (教 員 宛)	本研修は、情報セキュリティイ ンシデントの防止と対応を目的 としており、特に、メールの 誤送信や乗っ取り、システム 登録ミスなど、日常業務で発 生しやすい事例を中心に取り 上げる。本研修を通じて、情報 セキュリティの重要性を再認 識し、適切な対策を講じること で、本学におけるインシデント の発生を未然に防ぐことを目 指す。(講師:SUC-CSIRT 最高 情報責任者(CIO)平野 友理) 11/26 対面開催後、1/22～2/3 の期間で遠隔での追加開催を 行った。	大 学 教 育 セ ン ター ／ 講 師 (情 報 セキュリ ティ インシ デント 対 応 チーム 「 SUC- CSIRT 」最 高 情 報 責 任 者 (CIO) 平 野 友 理)	54	45		●オンライン 実施
FD・SD ③⑬	2025 年 2 月 14 日	第 13 回 FD・SD 研 修 会 (帝 京 大 学 宇 都 宮 キャン パス)	宇都宮市創造都市研究センタ ーは、市内4私立大学(宇都宮 共和国大学、作新学院大学、帝 京大 学宇都宮キャンパス、文星芸 術大学)が連携し、「創造都市 宇都宮市圏の形成」を目的に 設立さ れた組織である。講演「大学に おける質保証と IR-教育改善 のためのデータ活用-」(講師 守 一 介 氏 帝京大学宇都 宮キャンパスリベラルアーツセ ンター・IR 推進室)	地 域 協 働 広 報 センタ ー	2	2		●対面実施

SD ③④	2025 年 2 月 6 日	図 書 館 防 災 訓 練	基本的事項の確認・対応の実 際の確認・実地の訓練・振り返 り。 1.地震発生時の対応 非常口 の確認と玄関の開放確認及び 放送確認 課内での役割分担 とその練習 2.病人・負傷者対応 館内で病 人・負傷者が出た場合の対応 の確認とその練習 担架・車い すの確認 3.火災対応 消火器の使い方 確認 4.不審物・不審者の対応	図書館	1	13		●対面実施
SD ③⑤	2025 年 2 月 5 日 ～2 月 15 日	「組織や 人の動き を変革す る DXー 大学での 実例をも とに一 大 学 組 織の DX」 (e- JINZAI) ④	現代の大学は、財政難や学生 の質の向上、多様化・国際 化、社会貢献など多くの課題 に直面している。これらの課題 に対応するためには、職員の 役割がますます重要となっ ており、DX の導入が不可欠で ある。本研修では、大学職員が DX の基本概念を理解し、実務 に活かすための知識とスキル を習得することを目的とする。 『e-JINZAI for university』によ る WEB 研修「組織や人の動き を変革する DXー大学での実 例をもとに一 大学組織の DX」(講師 今井 匠太郎 氏 東京工業大学)	大 学 教 育 センター		46		●オンライン 実施
SD ③⑥	2025 年 2 月 14 日～2 月 28 日	【障害学 生支援】 障 害 学 生 の 実 習と合理 的配慮	本学における実習に関わる事 例から、障害学生が授業で学 外活動に参加する際の支援の 流れやポイント、留意点を整理 する。教職員が本学の障害学 生支援体制における知識・理 解を深め、学生が平等に参加 して学ぶことができる環境を作 ることを目指す。「障害学生の 実習と合理的配慮」(講師 小 林 久美 特任講師 キャンパ スライフ支援室)	学生課	39	42		●オンライン 実施
SD ③⑦	2025 年 2 月 1 日	【緊急開 催】情報 セキュリ ティ研修 (メール 管 理 の 方法)	本研修は、情報セキュリティイ ンシデントの防止と対応を目 的とする。特に、メールの誤送 信について、日常業務で発生 しやすい事例等を中心に取り 上げる。本研修を通じて、情報 セキュリティの重要性を再認 識し、適切な対策を講じるこ とで、本学におけるインシデ ントの発生を未然に防ぐこと を目指す。(講師:SUC-CSIRT 最 高情報責任者(CIO)平野 友 理)	大 学 教 育 セン タ ー ／講師(情 報セキュリ ティインシ デント対 応 チーム 「 SUC- CSIRT 」最 高 情 報 責 任 者 (CIO) 平 野 友 理)		36		●対面実施
SD ③⑧	2025 年 1 月 30 日	教 務 課 課 内 SD 研 修 (Excel の 基 本 操 作につい て)	教務課課内 SD 研修(Excel の 基本操作について)(講師 教 務課長 国谷 祐子) 本研修は、実習依頼状を送付 した際、本来送付すべき宛 先園に対し、違う園の住所に 送付されてしまった。今回の事	教 務 課 ／講師(教 務課長 国 谷 祐子)		5		●対面実施

			象は、Excel データの作成方法が原因であったため、再発防止及び操作技術向上のため研修を実施した。					
学生FD ③	2025 年 2 月 25 日	令和 6 年 度 課 外 活 動 団 体リーダー 研修会	本研修は学生会が主催し、文化系サークル・体育系サークルにおける学生活動団体のリーダーとなる学生を対象にその資質と能力を高める目的で実施する。 研修Ⅰ リーダーシップについて 研修Ⅱ 課外活動団体の運営について 研修Ⅲ 普通救命講習～eラーニング＋実技講習（AED含む）～	学生課	1		28	●対面実施
短大SD ①	2024 年 5 月 1 日	実習に際 する GPA の 活用につ いて	【キーワード】 GPA、実習、成績 実習に際する GPA の活用について、現行の基準では実習の直前での判断となり、学生や実習依頼先に対しても直前の連絡となるため、新たな基準について模索する。		10	1		●対面実施
短大学 生 FD・ SD ②	2024 年 6 月 5 日	社会人 学生 FDSD「社 会人学 生と教員 の交流 の集い」	【キーワード】 社会人学生、社会人入試、職業訓練生 社会人入試での入学や職業訓練制度を活用し入学する社会人学生の横のつながりを設けることや困りごとを共有し、今後の社会人学生へのサポート体制を構築する。		5	1	4	●対面実施
短大SD ③	2024 年 7 月 17 日	2023 年 度入試 総括と 2024 年 度の入 試対策・ 方針	【キーワード】 2023 年度入試総括、2024 年度入試対策、オープンキャンパス 2023 年度の入試を総括し、成果と課題を明らかにする。2023 年度の結果を 2024 年度の入試対策や方針を計画する。オープンキャンパスや高校訪問など、入試対策について検討する。		12	1		●対面実施
短大FD ④	2024 年 8 月 28 日	教員間の授業 実践情報共有 会「教員 間の研 究報告 や学修 行動調 査及び満 足度調 査を踏ま	【キーワード】 授業実践、ピアレビュー、実践研究 教員同士が授業の内容や実践をグループごとに情報共有し、授業力の向上を目指す。		13	1		●対面実施

		えた授業実践に関する報告」						
短大学生 FD・SD ⑤	2024 年 10 月 16 日	1 年生学生 FDSD	【キーワード】 1 年生、抱負と課題 入学後、半期が終了し、前期の振り返り・実習について・後期に向けた展望及び教員への要望を語る機会とする。		5	1	5	●対面実施
短大SD ⑥	2024 年 11 月 13 日	【緊急開催】情報セキュリティ研修【情報漏洩を防ぐための AV 機器の使用方法】	本研修は、情報セキュリティインシデントの防止と対応を目的としている。特に、メールの誤送信や乗っ取り、システム登録ミスなど、日常業務で発生しやすい事例を中心に取り上げる。本研修を通じて、情報セキュリティの重要性を再認識し、適切な対策を講じることで、本学におけるインシデントの発生を未然に防ぐことを目指す。(講師:SUC-CSIRT 最高情報責任者(CIO)平野 友理)		14	2		●対面実施
短大学生 FD・SD ⑦	2025 年 3 月 5 日	学生 FDSD	【キーワード】 2 年間の総まとめ、後輩へのアドバイス 学生 FD や本学の教育について理解を深めるとともに、FD・SD活動に学生の声を反映させながら本学全体の教育力の向上を目指すべく、学生・教員・職員が一堂に会して気軽な雰囲気の中で語り合う。(坪井真 教授 幼児教育科長 / 矢野 善教 先生 FD・SD委員長)		5	1	6	●対面実施

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・学生による「授業評価アンケート」の教員個人データ公開による意識向上
- ・「授業評価アンケート」結果による「ベストティーチャー賞」の選出・表彰
- ・ベストティーチャー賞受賞者の「公開授業」実施による教員の授業改善

③学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業評価アンケート

実施期間	事業名	概要
2024 年 7 月 8 日～7 月 23 日	2024 年度前期	WebClass によるアンケート方式 設問数 18 問 集計及び印刷は本学にて実施
2025 年 1 月 7 日～1 月	2024 年度後期	WebClass によるアンケート方式

27 日		設問数 18 問 集計及び印刷は本学にて実施
------	--	---------------------------

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・学生による「授業評価アンケート」の集計結果を学生に開示
- …ファイルを図書館及び情報センター、教務課カウンターへ設置し、自由閲覧とする。
- ・全体集計結果を大学ホームページへ掲載